



N@VEL YAMANASHI

ご説明資料

背景 (1/3)

- ネットワーク利用の増加
 - インターネット、社内ネットワーク など
- ブロードバンド回線の普及
 - ADSL、CATV、FTTH など

今後も接続数、帯域共に増加していく見込み

インターネット利用者の更なる増加

年齢層の広がり

広帯域、リアルタイムなコンテンツの要求増加

映像、音楽
ネットワークゲーム
IP電話

背景 (2/3)

問題点

■ ネットワーク全体

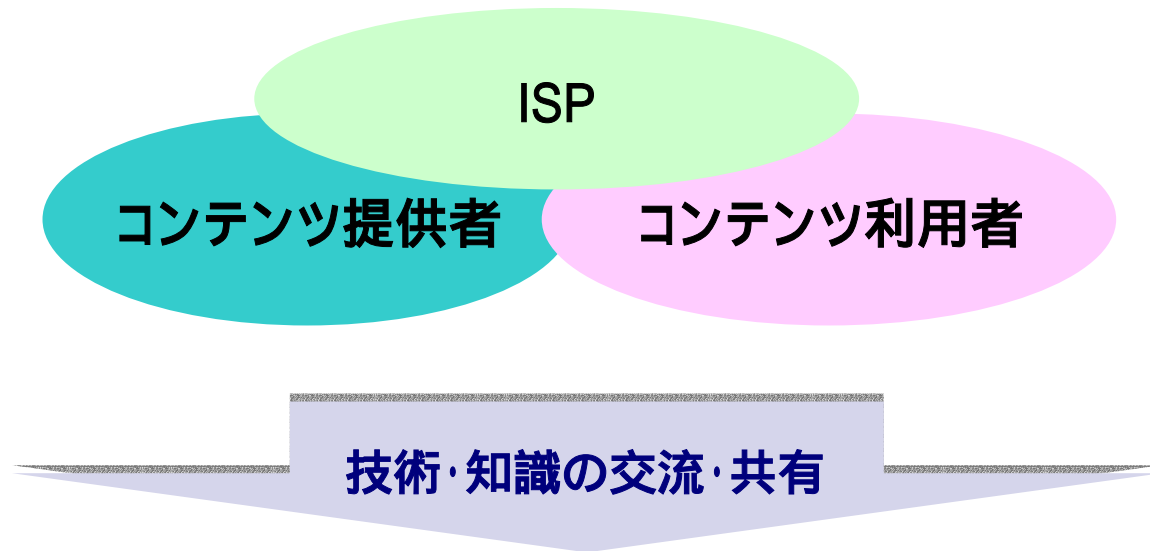
- 接続数増加、利用用途増加によるアドレス枯渇
 - IPv6の活用
- エンド回線の広帯域化によるバックボーンでのトラフィック処理
 - トラフィックエンジニアリング、QoS
- セキュリティ
 - 利用者の意識不足

■ 山梨県内

- 地域内でのトラフィックの処理
 - トラフィックの分散
- より地域に密着したコンテンツの作成
 - 山梨特有のコンテンツの考案
- 情報化のバリアフリー
 - 経済的理由、地理的理由による情報格差

背景 (3/3)

- 各セグメント間の協調が不可欠



- 問題点の解決
- 将来有望なサービスの検討

研究会の目的

山梨県内の様々な分野から情報通信分野に携わる技術者を集め、情報を共有することにより、

- 知識・技術レベルの向上
- 地域情報化促進
- 他メディアとの連携の仕組みづくり
- ネットワークを利用した新たなサービス形態の提案

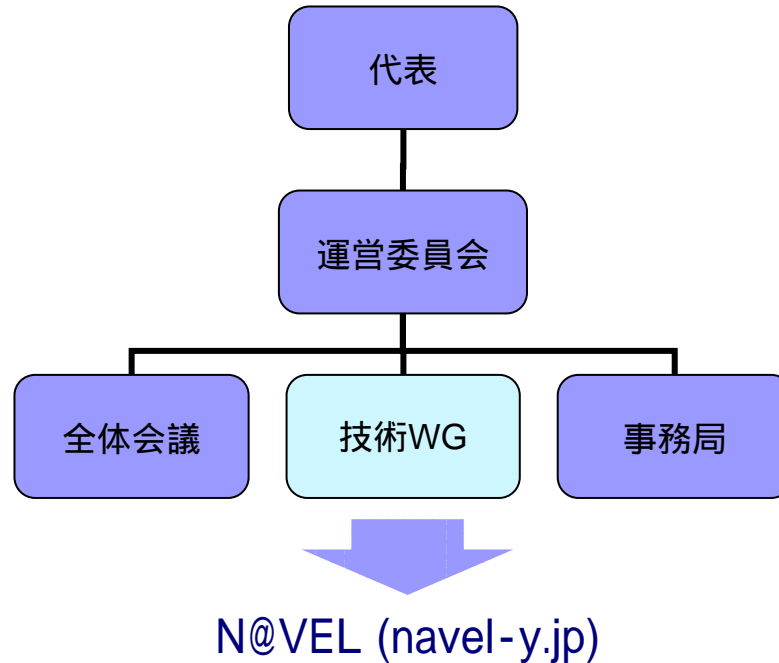
を目的とする。

研究会の活動内容

- 地域情報化促進のための技術開発及び検証
 - 地域内トラフィック処理(地域IX関連)
 - 地域特有なコンテンツの製作
- 実験網を用いた新技術や新たなコンテンツの検証
 - 大手キャリア系ISPを含めた形での各種実験(要交渉)
 - JGN (Japan Gigabit Network)への接続
 - IPv6活用実験
 - MPLS実験網を構築
 - その上でCDN (Contents Delivery Network)関連の試験等を行う
- 新たなサービスモデルの研究
 - 山梨発のサービスの提案
- 知識・技術レベルの向上(県内技術者の育成)
 - 若手技術者の育成
- 県内外への技術アピール
 - 県内外での研究成果発表
 - 県外技術者とコミュニケーションを図れる場の提供

研究会の位置付け

- 本研究会は山梨地域情報ネットワーク相互接続機構 (Y-NIX)^[2]の技術WGとして位置する
 - 新しいドメイン名を取得し、プロジェクトとして位置づける
 - プロジェクト名：N@VEL
 - ドメイン：navel-y.jp



研究会の体制

■ 幹事等

- 代表(NOC管理者)：羽田 友和 (株式会社YSK e-com)
- 幹事：山本 芳彦 (サンテクノカレッジ)
岡 裕人 (株式会社ウインテックコミュニケーションズ)
林本 雅之 (株式会社日本ネットワークサービス)
- 顧問：八代 一浩 (山梨県立短期大学助教授)
- 事務局：株式会社ウインテックコミュニケーションズ (担当：阿部)

■ 会員

- 趣旨に賛同する事業者(法人)もしくは研究者(個人)

ご参考

[1] N@VEL

□ <http://www.navel-y.jp/>

[2] 山梨地域情報ネットワーク相互接続機構 (Y-NIX)

□ <http://www.y-nix.or.jp/>